

会 議 録

1 会議名

平成 29 年度第 3 回高土区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

地域活動支援事業について（採択事業及び補助額の決定） （公開）

3 開催日時

平成 29 年 6 月 5 日（月）午後 6 時 30 分から午後 8 時 45 分まで

4 開催場所

高土地区公民館 2 階 中会議室

5 傍聴人の数

1 人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委 員：青木正紘（副会長）、飯野憲静（会長）、飯野正美、金子和博、小林トシ子
建入一夫、中嶋真一、樋口義昭、日向こずえ、細谷八重子、横川英男
横山とも子

・事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、野口係長、田中主事

8 発言の内容（要旨）

【田中主事】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【飯野会長】

- ・挨拶

【田中主事】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【飯野会長】

- ・会議録の確認者：飯野正美委員

議題「地域活動支援事業について（採択事業及び補助額の決定）」に入る。事務局に説明を求める。

【田中主事】

- ・採点結果一覧表により説明

【飯野会長】

今の説明に質疑を求める。

（発言なし）

それでは、第1位から第14位までの事業について採否と補助額を協議し決定する。高土区の予算額490万円に対し、111万6千円超過しているため、不採択または減額採択としなければならない。委員に意見を求める。

【金子委員】

ヒアリングだが、直江津区や高田区の地域協議会ではヒアリングを行っていない。ヒアリングをすると、喋りのうまい人や説明のうまい人が通りやすいという実状があり、今は直江津区も高田区も全部文書で質疑回答し、審査をしている。高土区のヒアリング時間は5分だが、今までどおりヒアリングのほうがよいのか。

【飯野会長】

ヒアリングを行うかどうかは、それぞれの独自性で行っている。高土区でも、毎年度の継続提案事業はヒアリングを行わなくてもよいという意見もあったが、昨年度と今年度は全員からヒアリングを行うということで進めてきた。来年度のヒアリングについては、来年度の採択方針等を決定する際に決めることである。

他に意見はあるか。

（発言なし）

補助額を決定する前に、14の提案事業のうち不採択とする事業があるか。

【小林委員】

11位の士-14は、このスポーツは必要性があるのかどうかを、提案に関係する委員に聞きたい。

【横川委員】

ヒアリングのときに話したし、提案に関係する委員は発言を控えなくてはいけない。

【金子委員】

昨年度、採択決定が終わった後に、高土区のやり方がこれでよいのかを確認するために、諏訪区と津有区を見て来た。そのときに、まず正副会長案をたたき台にして、皆で議論していた。昨年度、高土区は最後に正副会長案が出てきて、審議する時間がないまま採択になった。正副会長案があるのならば、早めに出していただきたい。昨年度は、1人2人が「はい」と返事して採決になった。どこもそのようなかたちではなく、挙手で採決しているので、採決は必ず挙手でお願いしたい。

【飯野会長】

分かった。それでは、正副会長案があるので、示してよいか。

— 正副会長案を配布 —

事務局に説明を求める。

【田中主事】

- ・正副会長（案）により説明

【飯野会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

それでは不採択、及び減額採択について、意見交換を行う。委員に意見を求める。

【金子委員】

士-10 の雄志中学校に設置しようとしているベンチだが、私は野球部のベンチというよりも、学校のベンチという捉え方をした。それは違うと思ったし、生徒はともかく、高土地区に何のメリットもないと思うので、少し納得いかないところはある。

【飯野会長】

直接的には高土地区にはメリットはないが、ヒアリングの際にベンチは学校のものではないと言っていた。学校備品でないために、保護者会等で購入するということがあった。また、高土区の子どもが野球に何人いるかどうかではなく、諏訪区と津有区と高土区で雄志中学校の校区になっている。高土区の子どもが何人いるかどうかの話だと、他の雄志太鼓等の提案でも高土区の子どもがいないから、どうかになってしまうのではないか。

【金子委員】

学校の備品は市から出すべきで、地域活動支援事業で出すのは違うと思う。

【建入委員】

金子委員の意見に賛成で、備品購入と地域活動支援事業は方向性が違うと思う。また、ヒアリングのときに担当の人が、今後はバックネットを直したいと言っていたので、それは地域活動支援事業に当てはまらないのではないかと思う。

【飯野会長】

他に意見はあるか。

【中嶋委員】

基本審査で、2人が基本審査で不相当としているので、順位は別としても、採択の優先度には低くなるのではないかと思う。減額率が0パーセントというのは、バランス的には納得いかない部分も多いと思う。

【飯野会長】

他の委員はどうか。

【中嶋委員】

士-8『男の料理教室』開催事業」だが、昨年度は14事業のうち14位であり、1万4千円減額だった。今年度も14提案中、下から2番目の順位であるが、減額しないのか。

【山田センター長】

事務局から補足する。正副会長案はあくまで、たたき台でということを示したものである。これを基に意見交換をしていただき、最終的な採択決定については、後ほど確認させていただく。まずは、正副会長案を見ていただき、不採択とする事業を決めていただき、次に減額採択かどうかを決めていただきたい。いろいろな観点から意見がでてくると、審議が難しくなるので、最初に不採択事業を順番に諮っていただきたい。

【飯野会長】

事務局から説明のあったとおり、採択か不採択かを定める。

士-12は採択とするか不採択とするか、挙手願う。

【山田センター長】

今はたたき台を基に意見交換する場なので、十分に議論せずいきなり挙手は難しい。まずは、不採択にする事業について意見を聞いていただき、最終的な結論は次の段階で、決を採っていただきたい。

【青木副会長】

士-10 雄志中学校グラウンド整備事業の関係は、ベンチを市の予算で購入できないということなので、提案されている。3 区にまたがる提案は、他の区とも合わせる必要もあるし、高士だけ削るのもどうかと思う。

【横川委員】

士-12 は、雄志中学校をセパタクローで活性化しようというが、なかなか実際に活性化には結びつかないと思う。基本審査で5人が不相当としているので、不採択でよいと思う。

【小林委員】

士-10、11、12 の3区にまたがる提案は、高士区だけ減額で他の2区は満額となった場合でも事業を行うのか。

【飯野会長】

ヒアリングのときは、減額になっても事業は行いたいといっていた。

【金子委員】

他の区で決まったところはあるのか。

【田中主事】

雄志中学校区の3区にまたがる事業については、諏訪区では満額採択された。ただし、諏訪区では配分額に対して、補助希望額を下回っており、2次募集の予定もある。また、津有区はこれから採択決定を行うため、決まっていない。

【金子委員】

今の小中学校の体育館はセパタクローができる高さで設計されていないので、その状態で指導したり、事業を広めたりはできない。もし教えられたとしても、上越市では大会がないので、何を目標にするのか分からない。また、道具も近くに売っていないのも問題だと思うし、壊れたら修理するということは、壊れるような競技だということである。高士区で競技している人もいないと思うし、不採択が適していると思う。

【建入委員】

士-12は必要性の点数がとても低いので、皆さんの認識は一致しているのだと思う。

【飯野会長】

皆さんの意見から、士-12と士-10が不採択として相応しいとの意見が出たので、採決を採りたいと思うが、よいか。

【建入委員】

士-10については、市からの意見はなかったのか。

【田中主事】

既に提案団体と学校との間で協議されているということなので、市として関係課に所見は求めている。

【建入委員】

皆さんの認識で、教育の場のものと、生徒の環境に関わるものとして見るのかの判断の認識がずれているのではないかと。そこで、不採択の採決に入ってよいのかと思う。

【田中主事】

ヒアリングの際に提案者から出た話だが、雄志中学校のベンチは元々、全て保護者会での購入や手作りで整備しており、管理についても保護者会で行ってきている。学校の備品扱いではないので、地域活動支援事業として提案されている。

【山田センター長】

前回は質問がでたが、皆さんの頭の中では本来、学校教育で整備すべきことが、地域活動支援事業であがってくるのかという疑問だと思う。ベンチに限らず、学校備品を所管している教育委員会の学校教育課が備品関係の要望のとりまとめを行っている。

だが、予算に限りがある中で優先順位を付けているので、地域の実態と合わないところもあり、PTA や後援会の組織から備品等を寄付していただいている経過がある。

たまたまベンチも一連の流れで、保護者会で整備してきたのだと思う。また、津有区では楽器を後援会で寄付したという経過がある。そこら辺も考えていただきたい。

【横川委員】

私たちも、雄志中学校関係者だし、昨年度グラウンドゴルフ大会のときにベンチを見たが、とても座れる様な状況ではなかった。3 地区にまたがる提案だと、高士区からの生徒は少ないからよいという訳にはいかないと思う。本来、行政で行うべきなのかどうかは、曖昧な部分はあるが、クラブ活動や子どもたちの活動を考えれば支援するのが妥当だと思う。

【金子委員】

今年度で全部揃えるのではなく、2 か年度計画でもよいのではないかと。私は、キャンドルイベントに委員で入っているのだが、150 周年は今年しかないのも、ベンチは来年度でもよいのではないかと。

【飯野会長】

提案者が委員の中にいる場合は、意見を控えることになっている。

【飯野委員】

このベンチは主に野球部で使われると思うのだが、グラウンドゴルフ等で雄志中学校を利用する際にも使用するのではないか。

【飯野会長】

今、2つの提案が不採択の意見として出ているが、資料No.5により順位が下の事業から採択決定をする。

「士-12」を採択する委員は挙手願う。

(0人)

不採択となった。

「士-8」を採択する委員は挙手願う。

【横川委員】

今までは、1番下位の提案が採択になれば、それよりも上位の提案は自動的に採択となったのだが、1件1件やっていくのか。そうすると、上位でも不採択になることも出てくる。すると何のための順位付けなのか、まったく意味がなくなるのではないか。

【飯野会長】

以前はそうだったが、挙手で決をとってほしいとのことだったので、1件ずつやっているが、どのようにするか。

従来どおりは、最下位の提案が採択された時点で、それよりも上位の提案は全て採択とし、減額等は採択決定後、協議していたのだがどうするか。

【青木副会長】

下位の提案が採択された場合、それ以上の提案に関しては全て採択でよいと思う。

【飯野会長】

13位以上の提案は、全て採択としてよいという委員は挙手願う。

(8人挙手)

13位以上の提案は、全て採択とする。

次に減額について事務局に説明を求める。

【田中主事】

・資料No.4 により説明

【飯野会長】

減額案について具体的に金額を示して説明があったが、委員に意見を求める。

【中嶋委員】

士-6の花火の打ち上げの経費は募金で賄えばよいとなっているが、端数の数字は何をもって出たのか教えてほしい。

【飯野会長】

ニュースポーツの1セット分の減額を引いて、数字合わせで出た金額である。

【中嶋委員】

いくら寄付が集まるとかではなく、ただの数字合わせか。

【飯野会長】

現実的に寄付がいくらになるかは分からない。

【中嶋委員】

花火は0円になるかも可能性もあるということか。

【飯野会長】

32万8,640円は生きてくるが、これから皆さんと決めていく。

【横川委員】

厳しい数字なのかもしれない。これは多分、削れるだろうということで正副会長も出してきた数字だと思う。

【青木副会長】

地域活動支援事業は税金を利用することを前提に考えたときに、我々は見直すべきだと思うところを、提示させていただいている。

【田中主事】

審査の方法として、提案に関係する委員はあまり発言しないようにと話したが、この事業については、地域協議会と実行委員会で、しっかりとこれからの方針を話していかなければいけない。是非、活発な話し合いをしていただきたい。

【飯野会長】

採択決定のこの場で話を始めると、際限なくなるので、今後の体制や課題のときに検討するのがよいと思う。附帯意見を付けることになるとは思いますが、そういう部分も含めて、皆さんに意見を求める。それとも、具体的な金額の内容を話したほうがよい

のか。

【横山委員】

今回、雪まつりの金額が一番大きいので、今すぐにどうというのは難しいので、他の事業を先に減額できるかどうかを検討してからのほうがよいのではないかと。

【飯野会長】

それでは、士-14 ニューススポーツの減額について、意見を求める。

【横川委員】

金額はこれだけだとなれば、その金額で対応する。皆さん研究されていて、鋭い意見があるが、提案している方は、高土区のために提案している。あまり提案について駄目だというと、意欲を欠き提案することをやめてしまい、提案団体がなくなるのではないかと。また、いろいろ事業を知って参加してほしい。参加すれば、その事業がよいのか悪いのかが見えてくると思う。

【飯野会長】

採択は済んだが、減額については1事業ごとに行うのか。

【横川委員】

士-14 のニューススポーツのように3セットを2セットにするのは簡単だが、士-8 男の料理教室で魚を3匹のところ1匹にするようにできないと思う。

【横山委員】

今回、小さい金額を出してきたが、補助金を大切に使うことは重要だと思う。何となく一括で提案している金額は気になるところがたくさんある。士-8 男の料理教室や士-7 旬の野菜クッキングは意味のあることである。ただ、いまどきの料理教室は最低でも参加費が1,500円から3,000円くらいである。材料費だけでなく、品目も講師料、保険代金も高いのだと思うが、参加費はもっと高くてもよいと思う。印刷代も、もっと探せば安くする方法はあるはずである。

ボランティア活動をするときにも、印刷代などの細かいところを削って有効に使うことのほうが重要である。地域活動支援事業も、補助金があるから湯水のように使うのではなく、検討するように委員が団体に指摘することは大切である。減額の金額を団体には言えなくても、議論を詰めて団体に提案していかないと、結局いつも同じような提案内容になってしまうのではないかと感じる。

【青木副会長】

正副会長での事前打ち合わせでは、士-6 雪まつりは配当額の7割を占めるのはどうなのかというところを考えたなかでのたたき台である。また、体育協会は3セットのうち2セットでよいと判断をしてしまった。均一パーセントで減らすのが従来のやり方だったと思う。

【中嶋委員】

細かい金額の内容は、各団体が減らされたなかで、自分たちで調整する。細かい金額の調整は協議会で話しても、そうはならないはずである。あくまでも金額の目安としての話なので、誰もが見て誰もが一番納得のいくのは、順位どおりに削減するのがよいと思う。

士-14は33パーセント削られていて、それよりも下位の事業は0パーセントの削減率というのは、納得できない部分がある。内訳で削るのではなく、削減率で削るのがよいと思う。また、基本審査で不適合を付けている人数で判断するのも大切だと思う。

【飯野会長】

今のご意見のような考え方もあるし、アンプはあるのに購入するとなると、高士区に2つあることになる。また、防寒具等は自分たちだけでなく、周りの人にもあげようということもあったので、それはふさわしくない。また以前は、減額すると事業が成り立たない事業以外を一律で減額したときもあった。

一律減額にした場合、それなりに行えるとは思いますが、税金ということを考えたときに、高士雪まつりは、正副会長案のようにしていただきたいと思う。

【金子委員】

吉川区で均等割りをしたら、事業ができないということで、予算が大分余ったと聞いた。雪まつりは減額して構わないと思うが、ただ昨年度は6事業を減額したのだが、今年度は2事業になっている。

【飯野会長】

数字合わせという話をしたが、士-14 ニュースポーツは2セットあれば事業は成立し、士-6 雪まつり開催事業の減額内容と合わせて配当額に収まったため、2事業を減額としている。

【中嶋委員】

それ以外の事業については、減額はしないのか。

【飯野会長】

多くの事業から少しずつ減額するよりも、これで賄った。

【青木副会長】

今考えると、逆からみた考えでやるとすれば、均等割りするということもありかと思う。体育協会に許可を得たわけではないが、3セットなくても2セットで可能だという話もあったので、帳尻が合うということでこの案にした。

【中嶋委員】

正副会長案では他の順位がどうのこうののではなく、金額の大きい雪まつりを削減して、上手に帳尻つくのがニュースポーツから1セット分を減らせば、なからの数字が合ったので、正副会長案として出したということでのいいのか。

【飯野会長】

大体、そうである。

【中嶋委員】

順位は関係なく、また他の提案の減額も考えずに、とりあえず大きい金額の雪まつりと金額の帳尻合わせしやすいニュースポーツから減額で考えたということか。

【飯野会長】

お金と使う人について、税金にふさわしくない部分や個人の身に着けるものはどうか等を考えたときに、このようなかたちになった。それと同時に、お金がまだオーバーしているので、ニュースポーツは1セット減らしても事業はできるので考えた。1つ1つの事業の精査はしていない。

【青木副会長】

精査していないが、例年の継続事業は必要な内容だということで考慮した。

【横川委員】

雪まつりの実行委員の人と話をしたが、金額に関しては協議会で決まった金額でやると言っていた。我々、体育協会も決まった金額の範囲で事業を行うしかない。これ以上、いろいろな意見を言っても、無駄な時間のような気がする。

【樋口委員】

正副会長案でよいと思う。

【田中主事】

採択の際に附帯意見を付けることもできるので、附帯意見についても決めていただきたい。

【飯野会長】

まず、附帯意見を定める前に、採択金額を決定しないと、なかなか進まないのので、正副会長案でよいか、挙手願う。

(10人挙手)

正副会長案で、補助額を決定した。

次に、資料No.2に特記事項として書かれたものがあるが、附帯意見はどうするか。

資料No.2と、またそれ以外でも意見があれば、協議をして精査して付ける。

【青木副会長】

高士区地域協議会の立場として付けるのだが、我々の意見として資料No.2のままではよいのではないか。

【建入委員】

ここに書かれている特記事項を伝えることは賛成である。もう少し厳しく支出を見てほしいという意見を、全体の意見として加えていただきたい。

【横川委員】

事業自体を見直すことが必要だ。グループで集まると、狭い見方しかできないので、いろいろな立場の人の意見を聞いて取り入れれば、もっとよい方法が出てくる。もう一度、よく洗い直しをしていただければ違ってくると思う。

【飯野会長】

話は変わるが、川上善兵衛の150周年記念の事業について、地区全体の取組について青木副会長から説明願う。

【青木副会長】

6月8日に準備委員会を開き、各団体でどのようなことを考えているのか、全体でやるべきことは何か、また、市でやるような地域の紹介するようところで紹介してもらえないか等含めて、動き出す予定である。市への問い合わせについては10月までに提案していかなければいけないので、実行委員会を立ち上げていきたいと思っている。雪まつりもその中の1つに加えていきたいと考えている。

【飯野会長】

来年度の川上善兵衛生誕150周年では、雪まつりだけでなく、全体として取組をしていきたいということである。高士地区振興協議会を中心として、個人も含めて各種団体と準備委員会を立ち上げて、何をしていくのか、どのようにするのかを今後考え

ていきたいと思う。雪まつりも含めて、もっと大きいイベントとしてやっていきたいということで検討していきたい。

特記事項としては、資料No.2にあるほかに付けたい意見があったら発言願う。

【田中主事】

特記事項を提案者に伝えるという話だが、事業を行ううえで必要な意見もあるが、審査する段階での特記事項も含まれている。事業実施に関係する内容のものだけを正副会長で精査して、附帯するということがよいかどうかを諮っていただきたい。

【飯野会長】

附帯意見について、正副会長と事務局で精査して付けることに、賛成の委員は挙手願う。

(全員挙手)

それでは、附帯意見は正副会長と事務局で精査しまとめることとする。

雪まつりに関して、実行委員の体制や運営について、実行委員会と接触を持たなければいけないし、地区全体の行事になればなおさらである。

【青木副会長】

地域協議会として一言入れていただければ、振興協議会としても動きやすい。

【建入委員】

ヒアリングのときにも話があったので、何らかのサポートは必要だと思うのは意思統一されていると思う。振興協議会と一緒に活動するべきだと思う。

【飯野会長】

建入委員の意見に賛成か、挙手願う。

(全員挙手)

次に、その他、次回の開催日について入る。次回は7月4日か5日で開催したいと思うが、意見を求める。

— 日程調整 —

・次回の協議会：7月5日（水）午後6時から 高士地区公民館 中会議室

【青木副会長】

・閉会の挨拶

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-5111 (内線 1449、1547)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。